

●接着歯科学講座 Department of Adhesive Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 奈良陽一郎

准 教 授 柵木寿男

講 師 前野雅彦

助 教 河本 芽

臨床研究生 岡田美里, 石川博司

非常勤講師 石川明子, 杉山征三, 森 のり子, 中村昇司, 長倉弥生, 原 学, 小川信太郎, 三宅詔子, 丸山沙絵子, 村田卓也, 林 孝太郎, 越田清祐, 丸山智重

大学院生 中澤美和, 杉山怜央

2. 研究テーマ

- 1) 次世代低侵襲性接着修復法の確立に向けた基礎的臨床的評価検討 Basic and clinical examination for the establishment of next generation MI restoration.
- 2) 革新的デジタルレストレーションシステムの構築を見据えた総合的評価検討 Comprehensive investigation of the innovative digital restoration system.
- 3) メタルフリー接着修復による高品位審美性の具現化 Realization of the high-definition aesthetic treatment with metal-free adhesive restoration.
- 4) 審美的修復材料のin vivo / in vitro接着評価 In vivo / in vitro bonding examination of aesthetic restorative materials.
- 5) 口腔内環境想定複合ストレス条件下における接着挙動の究明 Investigation of bonding behaviors under combination stress simulating intra-oral environment.
- 6) 新規修復用器材の開発と評価検討 Development and investigation of new restorative materials.
- 7) 非破壊接着評価法の探究 Investigation of non-destructive evaluation.
- 8) 非回転切削法による新規修復法の考究 Development of new restorative technique without rotating preparation.
- 9) 歯質との親和・一体化を図ったバイオアドヒージョンの創生 Revitalization of bio-adhesion for the affinity of tooth substance.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

受賞

記載事項なし

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 中澤 美和: CAD/CAMセラミッククラウン修復の接着を向上させる適切な即時象牙質シーリング Appropriate Immediate Dentin Sealing to Improve the Bonding of CAD/CAM Ceramic Crown Restorations, 2023年1月10日, 日本歯科大学, 博士(歯学)。

5. 主催学会等

- 1) 令和4年度東京都歯科医師会卒後研修, 東京都, 2022年6月26日, 主管者: 奈良陽一郎。

6. 国際交流状況

- 1) 共同研究：奈良陽一郎，柵木寿男，前野雅彦，越田清祐，河本 芽，鵜田智重，岡田美里，中澤美和，杉山怜央，河合貴俊とハーバード大学歯学部I. L. Dogon教授およびS. Nagai准教授（アメリカ合衆国）との共同研究，「次世代修復に関する基礎的臨床的研究」，1985年より継続中。
- 2) Dental Consultant in Dental Education for Project HOPE委任：奈良陽一郎，Dental Education for Project HOPE（アメリカ合衆国，米国保健政策機関Project HOPE）としての委任，2000年より継続中。

7. 外部・学内研究費

- 1) デンツプライシロナ株式会社委託研究費，委託研究，（新規），2022年4月1日～2022年6月30日，最近のall-in-one adhesive systemsによる歯髄圧負荷象牙質接着強さの量的質的評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，前野雅彦，河本 芽，鵜田智重，岡田美里，中澤美和，杉山怜央（分担），500,000円，2022年度，500,000円
- 2) クラレノリタケデンタル株式会社委託研究費，委託研究，（新規），2023年5月1日～2023年12月31日，試作品の評価およびボンディング、CR、セメント分野における製品の評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，前野雅彦，河本 芽，鵜田智重，岡田美里，中澤美和，杉山怜央，新田俊彦，河合貴俊，山瀬 勝（分担），1,000,000円，2022年度，1,000,000円

8. 研究業績

A. 著書

- 1) 1) 奈良陽一郎（分担執筆・編集）：窩洞，コンポジットレジン修復の臨床的特徴・窩洞の特徴・修復の手順・役立つ器材，合着・接着・歯髄保護に用いるセメント，52-59，95-99，99-100，101-105，106-109，146-153，奈良陽一郎，柵木寿男，歯科国試パーフェクトマスター 保存修復学，第2版，医歯薬出版株式会社，東京，2022，ISBN 978-4-263-45809-7。
2) 柵木寿男（分担執筆・編集）：齲蝕の病因と病態，齲蝕の予防・管理，消毒・滅菌と感染対策，齲蝕の治療，非齲蝕性硬組織疾患の治療，直接・間接修復の接着，13-17，18-21，22-25，32-35，36-46，86-95，奈良陽一郎，柵木寿男，歯科国試パーフェクトマスター 保存修復学，第2版，医歯薬出版株式会社，東京，2022，ISBN 978-4-263-45809-7。
3) 前野雅彦（分担執筆）：口腔検査，硬組織の切削，ガラスアイオノマーセメント修復，メタルインレー修復，セラミックインレー修復，26-31，47-51，110-116，117-129，134-142，奈良陽一郎，柵木寿男，歯科国試パーフェクトマスター 保存修復学，第2版，医歯薬出版株式会社，東京，2022，ISBN 978-4-263-45809-7。
4) 河本 芽（分担執筆）：歯の構造と加齢による変化，歯の硬組織疾患，コンポジットレジンの特徴・組成・種類，ベニア修復，1-6，7-12，79-86，143-145，奈良陽一郎，柵木寿男，歯科国試パーフェクトマスター 保存修復学，第2版，医歯薬出版株式会社，東京，2022，ISBN 978-4-263-45809-7。
2. 奈良陽一郎（分担執筆）：歯科診療技術（診断、予防、再生、在宅、高齢者、障がい者、AI技術），23-24，歯科医療技術革新推進協議会（日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科商工協会），2022年（令和4年）版 新歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョン，歯科医療技術革新推進協議会，東京，2022
3. 奈良陽一郎（分担執筆）：歯冠色間接修復法を成功させる接着の極意，154-157，第24回日本歯科医学会学術大会準備委員会，第24回日本歯科医学会学術大会記念特集 逆転の発想 歯科界2040年への挑戦，医歯薬出版株式会社，東京，2022
4. 1) 奈良陽一郎（分担執筆）：3章 歯の漂白，71-74，千田 彰，石井信之，佐藤聡，高阪利美，白鳥たかみ，保存修復学・歯内療法学，医歯薬出版株式会社，東京，2023，ISBN 978-4-263-42632-6。
2) 柵木寿男（分担執筆）：3章 歯の漂白，74-78，千田 彰，石井信之，佐藤聡，高阪利美，白鳥たかみ，保存修復学・歯内療法学，医歯薬出版株式会社，東京，2023，ISBN 978-4-263-42632-6。

5. 奈良陽一郎 (分担執筆) : 第6章 臨床実習 1. 臨床実習の目標, 2. 診療参加型臨床実習の実施状況, 89-93, 日本歯科医学教育学会白書作成部会, 歯科医学教育白書 2021年版 (2018~2021年), 日本歯科医学教育学会白書作成部会, 東京, 2023, ISBN 978-4-896-05390-6.

B. 原著

- 1) Nakazawa M, *Maeno M, Komoto M, Nara Y: Appropriate Immediate Dentin Sealing to Improve the Bonding of CAD/CAM Ceramic Crown Restorations, ☆◎◇Polymers, 2022; 14(21): 4541, doi: 10.3390/polym14214541. (参照2023年3月30日). (学位論文)
- 2) Lee SJ, Chung D, Asano A, Sasaki D, Maeno M, Ishida Y: Diagnosis of Tooth Prognosis Using Artificial Intelligence, ☆◎◇Diagnostics, 2022; 12(6): 1422, doi: 10.3390/diagnostics12061422. (参照2023年3月30日).
- 3) Asano A, Maeno M, Zhou X, Sasaki D, Kuwajima Y, Ishida Y: Barriers in Sustainability of Dental Students Choosing Academic Career Path: Comparison between the United States and Japan, ☆◎◇Sustainability, 2023; 15(6): 5063, doi: <https://doi.org/10.3390/su15065063> (参照2023年3月30日).

C. 総説・解説

- 1) 奈良陽一郎: 良質なメタルフリーCAD/CAM接着修復を目指して -69回生からの研究成果に基づく情報メッセージ-, ○歯学特集号, 2022; 歯学110: 4-7.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等) ・紀要

- 1) 柵木寿男: 特集 確実な接着臨床を実現するために 光照射器と照射方法の予後への影響を検証する 企画主旨. 日本歯科評論, 2022; 82 (4) : 25-25.
- 2) 柵木寿男, 河本 芽: Section 1 光照射器の現在. 日本歯科評論, 2022; 82 (4) : 26-33.
- 3) 柵木寿男, 河合貴俊: Q12 歯のホワイトニング製品への対応は可能ですか?. 日本歯科評論, 2022; 82 (4) : 56-57.
- 4) 柵木寿男, 河本 芽, 前野雅彦: 臨床に役立つすぐれモノ 象牙質知覚過敏症抑制材 グルーマディセンシタイザー. デンタルダイヤモンド, 2022; 47(13): 152-156.
- 5) 柵木寿男: 第53回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験の御報告. 日本歯科審美学会ニュースレター, 2022; 46 (2022 Winter) : 10-11.
- 6) 奈良陽一郎: 学会功労賞を賜って. 日本歯科審美学会ニュースレター, 2022; 46 (2022 Winter) : 16-16.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会発表

- 1) Mei KOMOTO, Reo SUGIYAMA, Chie MARUYAMA, Seisuke KOSHIDA, Yoichiro NARA. Wet-dentin bonding state of recent all-in-one adhesive systems under in vitro pulpal-pressure conditions. 第41回日本接着歯学会学術大会 国際接着歯学会 (IAD2022@sapporo) 併催講演集, 2022; 48. https://www.adhesive-dent.com/meeting/file/meet_41_abstract.pdf (参照2023年3月30日) .
- 2) Toshio MASEKI, Takuya MURATA, Yoichiro NARA. Efficacy of sandblast surface-treatment on the bonding-improvement of metal-free CAD/CAM restoratives. 第41回日本接着歯学会学術大会 国際接着歯学会 (IAD2022@sapporo) 併催講演集, 2022; 69. https://www.adhesive-dent.com/meeting/file/meet_41_abstract.pdf (参照2023年3月30日) .
- 3) 杉山怜央, 河本 芽, 丸山智重, 越田清祐, 奈良陽一郎. 最近のオールインワンアドヒーズシステムを用いた歯髄圧負荷象牙質面への質的接着評価. 2022年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第156回) プログラムおよび講演抄録集, 2022; 20. http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_156/01-12.pdf (参照2023年3月30日) .

- 4) 奈良陽一郎, 前野雅彦, 岡田美里, 森 のり子, 河本 芽, 杉山怜央. 異なる歯髄圧条件下におけるコンポジットレジン1級直接修復の窩底部象牙質接着強さ. 第3回象牙質歯髄治療学会学術大会・総会, 2022; 12.
- 5) 中澤美和, 河本 芽, 前野雅彦, 奈良陽一郎. CAD/CAMセラミッククラウン審美修復の接着を向上させる即時象牙質シーリング適用方法. 2022年度日本歯科審美学会学術大会 (第33回) プログラム・抄録集, 2022; 69.
- 6) 前野雅彦, 岡田美里, 森 のり子, 河本 芽, 杉山怜央, 小川信太郎, 奈良陽一郎. 異なる歯髄圧条件下におけるコンポジットレジン1級直接修復の窩底部象牙質接着に対する質的評価. 2022年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第157回) プログラムおよび講演抄録集, 2022; 43.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_157/all.pdf (参照2023年3月30日).
- 7) 杉山怜央, 柵木寿男, 奈良陽一郎. コンポジットレジン直接修復の窩底部象牙質接着に対する量的質的評価 —象牙質スマー層への機械的・化学的前処理の効果—. 2022年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第157回) プログラムおよび講演抄録集, 2022; 45.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/file/abstract_157/all.pdf (参照2023年3月30日).

G. 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

- 1) 奈良陽一郎: 象牙質レジンコーティング活用のCAD/CAM冠修復, 令和4年度東京都歯科医師会卒後研修, 教育講演, 東京 (2022年7月3日).
- 2) 柵木寿男: 最近のレジンセメント接着性能, 令和4年度東京都歯科医師会卒後研修, 教育講演, 東京 (2022年7月3日).
- 3) 前野雅彦: CAD/CAM修復の必勝クリニカルポイント, 令和4年度東京都歯科医師会卒後研修, 教育講演, 東京 (2022年7月3日).
- 4) 河本 芽: 脱離させないメタルフリーCAD/CAM修復, 令和4年度東京都歯科医師会卒後研修, 教育講演, 東京 (2022年7月3日).
- 5) 奈良陽一郎: 患者国民と時代が求めるメタルフリー修復 —コンポジットレジン修復からCAD/CAM修復まで—, 令和4年度日本歯科大学九州地区歯学研修会, 教育講演, オンライン (2022年7月3日).
- 6) 前野雅彦: 近年のCAD/CAM修復を成功に導く勘所—CAD/CAM冠からCADインレーまで—, 東京都板橋区歯科医師会学術研修会, 教育講演, 東京 (2022年7月20日).

2) 講演会・研究会・研修会等での講演

- 1) 柵木寿男: — 歯のホワイトニング — 実践編 2020年度web版, 日本歯科審美学会ホワイトニングコーディネーター オンライン講習会, オンライン (2021年3月15日~31日).

H. その他の出版物

記載事項なし